

## 皮膚と一体化する創傷被覆材

---

### (1) 開放特許（シーズ）の概要

本シーズは、救急絆創膏メーカーの東洋化学株式会社（滋賀県日野町）と滋賀県工業技術総合センターの共同研究開発の成果です。

従来の粘着フィルムは、フィルムの柔軟性が低く、皮膚表面の凹凸に馴染まないため、絆創膏として求められる【剥がれにくさ】や【防水性】が、課題とされていました。

そこで、柔軟性が非常に高く、指などの関節部位にも追従して変形するフィルムを開発。

【防水性】や【剥がれにくさ】が向上した上、皮膚伸縮時のストレスが少ないため、貼付時の違和感やかぶれを軽減することができました。

### (2) 特徴

弾性率：0.2～15 MPa、粘性：0.1～25 GPa・s、ガラス転移温度：15°C以下で、曲げ変形を受ける対象物に貼付して用いることで、曲げ変形に追従して変形することにより、繰り返し曲げがあっても剥がれにくく、貼り付け部の違和感がほとんどないフィルムとなります。また、透明性が高く、表面にエンボス処理することで、非常に目立ちにくくなります。

### (3) 活用例

頻繁に曲げ伸ばしをする関節部分の創傷の被覆やカテーテルなどの固定、長期間貼付しつづけるウェアラブルデバイスの固定など

### (4) 提供条件など

共同権利者の同意のもと、実施権を許諾します。また、製品供給や技術支援なども、共同権利者と協議しながら対応します。

### (5) 特許情報

権利者： 滋賀県 東洋化学株式会社  
登録番号： 特許第 6009777 号  
登録日： 平成 28 年 9 月 23 日(2016.9.23)  
出願日： 平成 24 年 2 月 21 日(2012.2.21)  
名称： 曲げ変形を受ける対象物に貼付して用いる貼付材用フィルム

権利者： 滋賀県 東洋化学株式会社  
登録番号： 特許第 6045892 号  
登録日： 平成 28 年 11 月 25 日(2016.11.25)  
出願日： 平成 28 年 11 月 25 日(2016.11.25)  
名称： 曲げ変形を受ける対象物に被覆して用いる被覆材用複合フィルム

図 1

